

12月6日（木曜日）に、さぬき市（津田）公民館で平成30年度大規模災害時避難所運営訓練を実施しました。

大地震等の災害が発生した場合、被災した多くの人々が生活を強いられる避難所の運営上の課題等を認識するため、避難所運営を模擬体験するゲーム『HUG』による訓練を体験しました。

『HUG』はH_{inanzyo}（避難所）、U_{nei}（運営）、G_{ame}（ゲーム）の頭文字をとったもので、英語で「抱きしめる」という意味。カードと図面を使用し、1組7人程度のグループにより避難者の配置や出来事への対応等の避難所運営を模擬体験できるゲームです。

当日は、日本DMATインストラクター 萩池 昌信 先生をファシリテーターに、17機関33名の方が参加しました。

参加者からは、「避難所運営について、マニュアルではわからない難しさや課題等がわかった。」
「役割分担が重要だ。」「来年度もHUG訓練を実施したい。」等の声が聞かれました。

